

『看護学テキスト NiCE 母性看護学 I 概論・ライフサイクル(改訂第 3 版第 2 刷)』
サポート情報

2024 年 2 月
株式会社 南江堂

『看護学テキスト NiCE 母性看護学 I 概論・ライフサイクル (改訂第 3 版第 2 刷)』について、以下の通り最新の情報を提供いたします。

- ・ p.165, 「表VI-1 現在行われている主な出生前診断」を『産婦人科診療ガイドライン—産科編 2023』に合わせて下記に差し替えます。

表VI-1 現在行われている主な出生前診断

	検査法	検査時期	おもな対象	検査感度*6
確定的検査	絨毛検査	妊娠11週～14週	染色体異常全般*5	ほぼ100%
	羊水検査	妊娠15週以降	染色体異常全般*5	ほぼ100%
	臍帯血検査	妊娠18週以降	染色体異常全般*5 感染症・貧血	ほぼ100%
確定的・非確定的検査	胎児超音波検査*1	妊娠全期間	胎児疾患一般	15%以下の疾患から 80%以上の疾患まで幅広い
非確定的検査	母体血を用いた非侵襲性出生前遺伝学的検査 (NIPT)	妊娠10週以降	21トリソミー 18トリソミー 13トリソミー	99%
	nuchal translucency	妊娠11週～13週	21トリソミー	64～70%
	妊娠初期母体血清マーカー*2 + nuchal translucency	妊娠11週～13週	21トリソミー 18トリソミー	82～87%
	妊娠中期母体血清マーカー (トリプルテスト*3・ クアドラプルテスト*4)	妊娠15週～18週	21トリソミー 18トリソミー 神経管閉鎖障害	69% (トリプルテスト) 81% (クアドラプルテスト)

*1 超音波検査は非確定的検査にも確定的検査にもなりうる。

*2 pregnancy-associated plasma protein A, free beta human chorionic gonadotropin (hCG), nuchal translucency

*3 hCG, unconjugated estriol (uE3), alphafetoprotein (AFP)

*4 hCG, uE3, AFP, inhibin-A

*5 微細欠失・モザイクは除く。

*6 検査感度とは、実際に異常を認めた被験者のうち、検査で異常と識別された被験者の割合である。非確定的検査では21トリソミーに対する検査感度を示した。

[日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会(監・編):産婦人科診療ガイドライン—産科編2023, 日本産科婦人科学会, p.85, 2023より許諾を得て転載]